

プロジェクト名：パキスタン国地下水涵養ダム計画調査（F/S）

（調査期間：1996年3月～15ヵ月、担当業務：農業・農業支援）

調査背景

パキスタン国政府は、第8次5ヶ年計画（1993～1998年）の中で農業部門における持続的発展のために、水資源開発の推進、灌漑システムの整備拡充、農民参加による維持管理を推進することを挙げ、その水資源開発セクタープログラムでは、小規模灌漑スキームの推進を提言している。特に水資源の乏しいバルチスタン州においては、過度な揚水によって地下水枯渇の障害のみられる小規模ポンプ灌漑スキームへの地下水涵養促進対策や下流地区の洪水対策の早期着手を計画している。バルチスタン州政府灌漑・電力局は、以前より地下水を涵養するためのダムの建設に取り組んでいるものの、いくつかの技術的問題により成功に至っていない。そこで州政府は、特に地下水低下の著しいパキスタン北部地域を対象とした、新規地下水涵養ダムの建設及び地域の保全の優先性を確認し、その計画の策定のためのフィージビリティ調査による技術協力を日本政府に要請した。

調査概要

上記調査は灌漑、水管理、地下水、農村社会、組織、環境等10人の専門家で構成された調査団によって実施され、フェーズIでは、新規地下水涵養ダム13地区の現地調査、及び既存地下水涵養ダムの評価を経て、地下水涵養ダム整備方法（案）を策定し、9地区の優先地下水涵養ダムを選定した。調査内容は各専門分野の調査及び解析の他に、土質、土壌、水質、農村社会、自然環境等の詳細・分析調査が行われた。

担当事項

- 全国・地域レベルの農業セクターの情報、資料の収集及び解析。
- 調査対象地域及び周辺地域における営農・栽培状況の調査及び分析。
- LANDSAT 衛星画像解析による現況土地利用調査。
- 自然条件及び社会経済条件などを考慮した農業計画、土地利用計画、畜産開発計画の策定。
- 調査対象地域及び周辺地域における農業基盤整備、農業技術の普及支援の現状等の農業支援体制に係る調査及び開発計画の策定。
- 優先ダム地区における農民参加型の農業及び農業支援計画の策定。

